

国内事例  
in Japan

1

## 科学技術を社会全体で学ぶサイエンスカフェ ／東京大学食の安全研究センター



専門家である話題提供者に質問しながら進行することで聞き手の理解を助ける。

科学技術の情報に触れたいという市民からの期待に応えるため、市民と専門家が対話する場として、各地でサイエンスカフェが開催されている。ここでは、科学技術を社会全体で理解し受け入れるために市民と専門家がそれぞれにリテラシーを高めていくことがポイントとなる。

### 科学への関心と市民に届く情報

内閣府が2017年9月に実施した「科学技術と社会に関する世論調査」は、科学技術についてのニュースや話題に関心があると答えた人が60%、また、機会があれば専門家の話を聞いてみたいと答えた人は47%を超え、市民の科学技術に対する関心の高さ

がうかがえる。また、同調査によれば科学技術に関する情報源としてはテレビや新聞が上位にある一方、1941年創刊の老舗科学雑誌「科学朝日」(後の「サイアス」)の休刊や「ニュートン」出版元の経営破たんなど、高度な専門的知識から市民が遠ざかっている様子がうかがえる。

そのような市民側の変化を反映して、近年では日本科学未来館が科学技術者と市民をつなげる科学コミュニケーターを配置したり、博物館では研究者による一般向けのトークイベントが開催されるようになった。冒頭にも出た各地に広まるサイエンスカフェ開催の動きもこの一例だ。科学技術に関するリアルな情報のや

科学技術への関心は市民社会でも上昇

①社会の新たな問題は科学技術の発展によって解決されると思う人

73.7%

②科学技術に関する政策に国民のかかわりが必要と思う人

79.0%

出典：平成29年度科学技術と社会に関する世論調査(内閣府)

りとりによって、なにが生まれているのだろうか。

## 科学と社会をつなぐ サイエンスカフェ

イギリスで20世紀後半に登場したサイエンスカフェは、フランスの哲学カフェをモデルにしたと言われており、科学について気楽に語り合える場づくりが、科学を社会に取り戻す営みとして始められたようだ。科学技術を知識としてだけではなく社会の問題や解決策としてとらえることを主眼におき、参加者と専門家が対等な立場で対話することを重視している。そのため話題提供者である専門家が話す時間は短くしたり、参加者が質問しやすい雰囲気をつくっている。サイエンスカフェは対話を通じて市民が科学リテラシーを育み、科学者が社会リテラシーを高める場でもあるのだ。

日本でもかつての公害や薬害問題を経て、社会的な問題とその要因または解決の手段としての科学技術について、市民参加で対話する場が求められるようになった。前述の世論調査でも、「科学技術に対する政策決定に市民の関与を求める」と答えた人が全体の79%であることから、社会的な意義が高い。現在では大学や博物館といった専門家がいる機関から飲食店、会議室を使って食から宇宙まで幅広いテーマでサイエンスカフェが開催され、集客のためのポータルサイトも誕生している。

## 身近な食から考える 科学技術と生活の関わり

東京大学食の安全研究センターでは2011年から日本中央競馬会(JRA)

の助成をうけてサイエンスカフェを開催している。このカフェは東日本大震災による原子力発電所の事故後に広まった放射線への不安をきっかけに、一般の人に知識を届けたいと同センター長・教授の関崎勉氏が始めた。関崎氏は参加者が食に対するさまざまな不安から判断に迷っていることに気づき、特定の物質に関する知識や理解ではなく伝統的に人間社会が化学物質とどのように付き合ってきたか伝えることを大切にしたいと考えるようになったという。「化学物質というと人工的で有害なものというイメージを持ってしまいがちですが、植物だって化学物質を作っていて、その中には人体にとって有害なものもあります。ただ伝統的に食してきた人間は、どのくらい食べても大丈夫なのかということを経験的に知っていて、これまでは代々、その知恵を伝承してきたんです。ところが世代を越えた知恵の伝達が遮られるようになった現在では物質そ

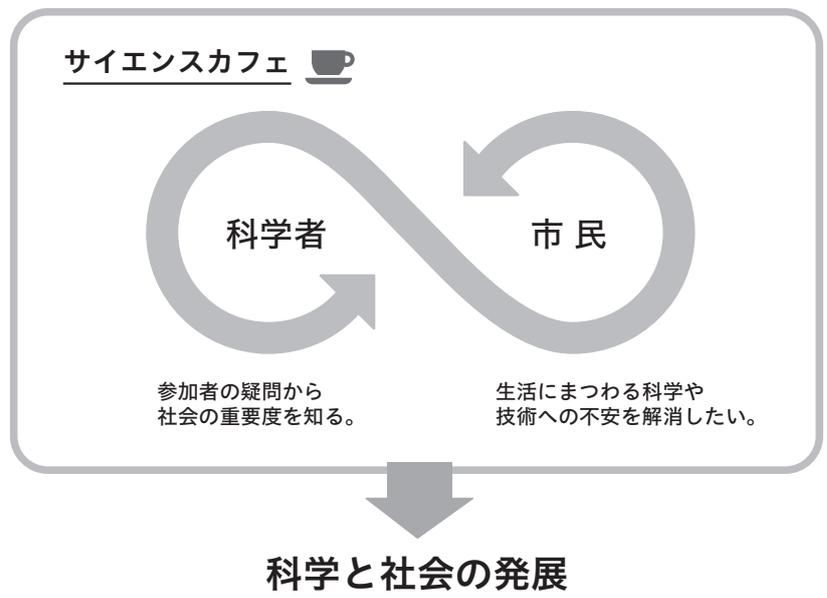
れぞれに対して不安を募らせるということが起きてしまっています。基礎的な知識を得てあとは自分たちで判断するというところを取り戻して欲しいのです」と関崎氏は語る。

科学技術の発展によりこれからも新たな化学物質が発見され、活用されるだろう。技術や物質に不安を持つことをきっかけとして市民は知識を学び、科学者は社会に不安やニーズを知るという双方向のコミュニケーションを継続していくことが、科学と社会が共に発展していくことにつながる。



「サイエンスカフェ・ポータル」から全国のサイエンスカフェ情報を検索できるサイトも(サイエンスカフェを考える会運営)。

## 研究者と市民の双方向コミュニケーションで実現するサイエンスカフェ



出典：取材を通して GEOC で作成